

遺品整理サービスという言葉をご存じだろうか。独り暮らしの高齢者が亡くなつた後、部屋に残された故人の家財道具や部屋の清掃を引き受けけるサービスのことだ。膨大な遺品を前に戸惑う遺族らに代わって、専門の業者が処理をしてくれる。孤独死が増える中、依頼も急増している。（砂上麻子）

今月中旬、遺品処理専門業者「キーパーズ」（愛知県刈谷市）の東京支店に、都内に住む六十歳代の女性から一件の依頼が寄せられた。横浜市内の団地で独り暮らしをしていた叔母（八〇）が亡くなつたのだという。

叔母とは四月中ごろから連絡がとれなくなつた。約三週間後、布団の上で亡くなっているのが管理人らによつて確認された。

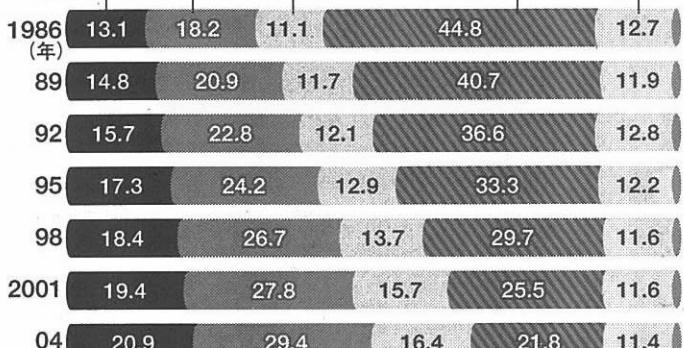
この女性は葬儀を終え、叔母の部屋を片づけようとしたが、流しには食器が積み上げられ、約三年分の新聞、ビールの空き缶などゴミが散乱していた。「どこから手をつけているか分からなかつた。ほかに親せきもおらず手伝ってくれる人がいなくて困っていた」という。

の日本人形が飾つていて、人形は同社で供養してから処分する。女性は「叔母と最後まで一緒にいた人形をそのまま捨てるのは嫌だったので、供養してくれるのは本当に助かります」と話した。独りで暮らしていた老人が亡くなり、遺品処理に悩む遺族が多い。「死

未婚の子のみの世帯 3世代世帯 その他の世帯

Category	Percentage
1	11.1
2	44.8
3	12.7
4	11.7
5	40.7
6	11.9
7	12.1
8	36.6
9	12.8
10	12.9
11	33.3
12	12.2
13	6.7
14	13.7
15	29.7
16	11.6
17	7.8
18	15.7
19	25.5
20	11.6
21	29.4
22	16.4
23	21.8
24	11.4

	65歳以上の高齢者がいる世帯の構成別比率(%)				
	夫婦のみの世帯	親と未婚の子のみの世帯	3世代世帯	その他の世帯	
86年	13.1	18.2	11.1	44.8	12.7
89	14.8	20.9	11.7	40.7	11.9
92	15.7	22.8	12.1	36.6	12.8
95	17.3	24.2	12.9	33.3	12.2
98	18.4	26.7	13.7	29.7	11.6
01	19.4	27.8	15.7	25.5	11.6
04	20.9	29.4	16.4	21.8	11.4



\*1995年の数値は兵庫県を除いたもの。厚生労働省「国民生活基礎調査」より

東京、大阪、福岡に支店を置く。現在、同社には月に約百件の依頼があるとう。その三分の一は、独り暮らしの高齢者世帯の遺品処理だ。「誰にも発見されないで数日経過して見つかる孤独死、麥死のよくなケースが増えてる」と吉田社長。

三百七十三万世帯に増加。吉田社長は「遺族も困っているが、高齢者自身が『自分が死んだらどうなるか』と悩んでいる」という。実際、生前に遺品処理の契約をする人も多い。

「独居老人の増加は止められない。今後は遺品処理だけでなく、話し相手や買い物に付き合うなど独居老人の孤独をいやすような活動も考えていく」と吉田社長は話している。

# 遺品整理業者 引く手あまた



独居老人増え需要増す

依頼主は「亡くなった人の遺族だが、中には故人に三十年以上会っていない、という人もいる。葬儀の後、「家賃が発生するので早急に部屋を明け渡したい」と処理を急ぐ依頼が多く、同社は年中無休、二十四時間対応している。

形見分けの品を遺族に届ける一方、遺族が不要とした遺品は処分したり、リサイクル品として買い取る。